

「指導と評価の一体化」のための

学習評価に関する参考資料（小学校 図画工作）の活用ガイド

本ガイドは国立教育政策研究所の参考資料をもとに、先生方が授業を行うに当たり検討する、指導と評価の計画立案の参考となるよう、神奈川県教育委員会・市町村教育委員会の指導主事の協働で作成したものです。

○掲載項目（事例3）

- 1 題材の目標
- 2 題材の評価規準
- 3 材料・用具
- 4 指導と評価の計画
- 5 指導と評価の実際
- 6 観点別学習状況評価の進め方
 - 「主体的に学習に取り組む態度」の評価
 - 「思考・判断・表現（発想や構想）」の評価
 - 「知識」の評価
 - 「技能」の評価
 - 「思考・判断・表現（鑑賞）」の評価

掲載事例以外の題材でも、本ガイドに掲載されたポイントを参考に、日々の学習指導と評価の充実に向けた授業改善に努めましょう！

○活用ガイドのポイント

- ・事例をもとにして、題材の目標と指導と評価の繋がりを解説しています（1～4）
- ・「知識・技能」と「思考・判断・表現」の評価を明確化して、示しています（5・6）
- ・「主体的に学習に取り組む態度」をどのように見取り、評価しているかを解説しています（5・6）

小学校 図画工作科 事例を通じた評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 p.71-78

図画工作科 事例3
 キーワード 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

題材名
 花に心をこめて(第4学年)

内容のまとめり
 第3学年及び第4学年「絵や立体、工作」「鑑賞」

1 題材の目標

作品を飾りたい場所の様子や和紙を染めて感じたことから、表したいことを見付け、紙類や絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫して表すととともに、作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、進んで染めた和紙で花を表現したり鑑賞したりする活動に取り組む。



「指導と評価の一体化」のための
 学習評価に関する参考資料

2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感覚や行為を通して、形や色などの組合せによる感じが分かれている。 ・和紙などを適切に扱うとともに、紙類や絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色の組合せによる感じを基に、自分のイメージをもちながら、作品を飾りたい場所の様子和紙を染めて感じたことから、表したいことを見付け、表したいことや場所の様子などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。 ・形や色の組合せによる感じを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取りたり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 	<p>つくりだす喜びを味わい進んで染めた和紙で花を表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。</p> <div data-bbox="1768 811 2458 1172" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>つくりだす喜びを味わい進んで～(中略)～しようとしている</p> </div>

3 材料・用具

和紙(障子紙)、絵の具、トレー、筆、セロハンテープ、ホチキス、はさみ、木工用接着剤、作品カード、ワークシートなど

4 指導と評価の計画(6時間)

時間	ねらい・学習活動	評価の観点、評価方法等				備考
		知	技	思	態	
		知識	技能	発想や構想	鑑賞	
1 2	・作品を飾りたい場所の様子から、どんな花を表していきたいか考え、材料の和紙を絵の具で染める。					1, 2時間目は、「技能」と関連付けて、「主体的に学習に取り組む態度」の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かす。
3 4	・染めた和紙の色や質感を生かして、飾りたい場所に合う花をどのように表すかを考えて表す。			○ ◎ 観察 対話		3, 4時間目は、「思考・判断・表現(発想や構想)」と関連付けて、「主体的に学習に取り組む態度」の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かす。
5	・場所に合う表したい花になるように表し方を工夫して表す。	◎ 観察 対話 作品	◎ 観察 対話 作品			5時間目は、「知識・技能」と関連付けて「主体的に学習に取り組む態度」の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かす。
6	・友人と互いの作品を見合い、よさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方について感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。			◎ 観察 対話 作品 作品カード ワークシート	◎ 観察 対話 作品 作品カード ワークシート	6時間目は、「思考・判断・表現(鑑賞)」と関連付けて「主体的に学習に取り組む態度」の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かす。 さらに、「主体的に学習に取り組む態度」は、活動全体を通して把握し、最後に記録に残す。

○・・・題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎・・・題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を記録に残す。

評価の観点、評価方法等を計画する。

- ・・・適宜、児童の学習状況を**把握**
- ◎・・・全員の学習状況を**記録**に残す

備考の欄

評価の観点、評価方法等と関連付けて、**学習状況を把握** → **指導に生かす**

(例)

3・4時間目は「思考・判断・表現(発想や構想)」と関連付けて、「主体的に学習に取り組む態度」の視点で、学習状況を把握し、指導に生かす。

5 指導と評価の実際① (1~4/6時間)

時間	ねらい・学習活動	評価	
		評価の観点 評価方法等	評価の実際
1	・作品を飾りたい場所の様子から、どんな花を表していきたいか考え、材料の和紙を絵の具で染める。	技 ○	<ul style="list-style-type: none"> ・「技能」の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かした。 ・「技能」と関連付けて「主体的に学習に取り組む態度」の視点で、進んで和紙を染めている様子を観察する、つぶやきを捉えるなどして児童の学習状況を把握し、指導に生かした。
2		態 ○	
3	・染めた和紙の色や質感を生かして、飾りたい場所に合う花をどのように表すかを考えて表す。	思 ○ (発想や構想)	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考・判断・表現(発想や構想)」の視点で児童の学習状況を把握し指導に生かした。 ・「思考・判断・表現(発想や構想)」と関連付けて「主体的に学習に取り組む態度」の視点で、進んでどのように表すか考えながら表している様子を観察する、つぶやきを捉える、作品を見るなどして児童の学習状況を把握し、指導に生かした。
4		態 ○	
		思 ◎ (発想や構想)	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考・判断・表現(発想や構想)」の視点で児童の学習状況を把握し、記録に残した。 ・「思考・判断・表現(発想や構想)」と関連付けて、「主体的に学習に取り組む態度」の視点で、進んで表したいことを見付けどのように表すか考えながら表している様子を観察する、問いかける、作品を見るなどして児童の学習状況を把握し、指導に生かした。
		観察 対話	
		態 ○	

【ねらい・学習活動】
 作品を飾りたい場所の様子から、どんな花を表していきたいか考え、材料の和紙を絵の具で染める。

「技」の視点+「態」の視点

(例) 家のどこに飾るか考えながら、自分の表したい花の色になるように和紙を染めている

【ねらい・学習活動】
 和紙の色や質感を生かして、飾りたい場所に合う、どのように表すかを考えて表す。

「思」(発想や構想)の視点+「態」の視点

(例) どんな感じにするか、どんな飾り方をするかなど手を働かせて材料の和紙に関わっている。

「思考・判断・表現(発想や構想)」について

「和紙を触り、握ったり折ったりしながら表したい形を見付けている」「飾りたい場所に合うように花の形を**考えている**」などの姿を「おおむね満足できる」状況として把握した。

◎ 「思」(発想や構想)の視点で記録に残した。

手と和紙の感触を味わいながら表したいことを考え、それをどのように表そうか考えている。

◎ 「思」(発想や構想)の視点で記録に残した。

「技」・・・技能、「態」・・・主体的に学習に取り組む態度、「思」・・・思考・判断・表現

5 指導と評価の実際② (5/6時間)

			 <p>手で和紙の感触を味わいながら表したいことを考え、それをどのように表そうか考えている。</p>
5	<p>・場所に合う表したい花になるように表し方を工夫して表す。</p>	<p>知 <input checked="" type="radio"/></p> <p>観察 対話 作品</p> <p>技 <input checked="" type="radio"/></p> <p>観察 対話 作品</p> <p>他 <input type="radio"/></p>	<p>・「知識」「技能」の視点で児童の学習状況を把握し記録に残した。</p> <p>・「知識・技能」と関連付けて、「主体的に学習に取り組む態度」の視点で、形や色などの組合せによる感じに着目しながら表したい花になるように表し方を工夫して表している様子を観察する、問いかける、作品を見るなどして学習状況を把握し、指導に生かした。</p>  <p>黄緑色と水色の和紙を使っていろいろな大きさで同じ形の花をつくり重ね合わせて新たな形になるようにしている。</p>  <p>家で飾る場所の壁を思い浮かべながら、山吹色の明るい感じと紫色の落ち着いた感じが合うように考えて全体を見ながら花を表している。</p>

【ねらい・学習活動】

場所に合う**表したい**花になるように表し方を工夫して表す。

◎ 「知」「技」の視点で**記録**に残した。

「知」「技」の視点+「態」の視点
形や色などの組合せによる感じに着目しながら、
表したい花になるようにあわらし片を工夫して
表している様子

(観察、問いかける、作品を見るなど)

「知識」について

「染めた和紙の色や質感を生かしている」と試しながら、思いに合わせて表し方を工夫して表す場面において、形や色などによる**組合せ**の感じに**着目**しているなどの姿を「おおむね満足できる」状況として把握した。

「技能」について

「花を見る人のことを思い、どんな心を込めたいのかを確かめながら、**手や体全体を十分に働かせて**材料や用具を扱っている」「表したいことに合わせて、和紙を手でちぎったり、はさみで切ったり、折ったり丸めたりしながら、**組合せ方やつなぎ方を工夫**して表している」などの姿を「おおむね満足できる」状況として把握した。

「知」・・・知識、 「技」・・・技能、 「態」・・・主体的に学習に取り組む態度

5 指導と評価の実際③ (6/6時間)

6	<p>・友人と互いの作品を見合い、よさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方について感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。</p>	<p>「思」 (鑑賞)</p> <p>観察 対話 作品カード ワークシート</p>	<p>・「思考・判断・表現(鑑賞)」の視点で児童の学習状況を把握し記録に残した。</p> <p>・「思考・判断・表現(鑑賞)」と関連付けて、「主体的に学習に取り組む態度」の視点で、作品を鑑賞している様子を観察する、問いかける、作品カードやワークシートを見るなどして児童の学習状況を把握し、指導に生かした。</p> <p>・これまで捉えてきた「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価を踏まえて、記録に残した。</p>
		<p>「態」</p> <p>観察 対話 作品 作品カード ワークシート</p>	<p>友人と話し合いながら自分の作品を見て、花の形の面白さ、茎を曲がっているようにしたこと、全体が回るような飾り方ができる形になっているなどの表し方のよさを改めて感じ取っている。</p> <p>友人の作品を見て色の生かし方や紙を巻くことによって生まれる花の形の面白さを感じ取り、自分の作品と比べて感じ方を広げている。</p>

【ねらい・学習活動】

友人と互いの作品を見合い、よさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方について感じ取ったり、考えたりし、見方や感じ方を広げる。

「思」(鑑賞)の視点で記録に残した。

「思」(鑑賞)の視点+「態」の視点
作品を鑑賞している様子を観察する。

(観察、問いかける、作品カードやワークシート
を見るなど)

これまで捉えてきた「態」の学習評価を踏まえて、
記録に残した。

「思考・判断・表現(鑑賞)」について

「友人と話し合いながら自分の作品を見て、花の形の面白さ、表し方のよさを感じ取っている」など姿を「おおむね満足できる」状況として把握した。

「主体的に学習に取り組む態度」について

「思考・判断・表現(鑑賞)」で捉えた姿と関連付けて、つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとしている姿を「おおむね満足できる」状況として、主に、観察、作品、作品カードから把握した。

「思」・・・思考・判断・表現、

「態」・・・主体的に学習に取り組む態度、

5 指導と評価の実際④ (6時間)

作品、作品カード、ワークシート



ぜんぜんげんかんにはカラフルな色がなかったので、この花を置くとすごくきれいだと思います。



たたみに合うようにいろいろな色を使うのではなく2色にしました。結んだり丸めたりして花束のようにしました。



家に入ってすぐの玄関の壁に飾って、花が話しかける感じになるようにしました。太陽のような明るい花になるように回りは細い紙を使ってひらひらするように工夫して表しました。

作品からは、作品全体の印象だけでなく、作品の部分にも着目する。

●形の感じや色の感じ、組合せによる感じなどを捉えながら主体的に学習に取り組んでいるかどうかを捉える。

●材料や用具をどのように使っているか、思いをもって工夫して表しているかなどを具体的に捉える。



見た人が「迎えてくれてありがとう」という気持ちになるように明るい青を使って形を工夫しました。

6 観点別学習状況の評価の進め方

「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

本事例の「主体的に学習に取り組む態度」は、

つくりだす喜びを味わい進んで染めた和紙で花を工作に表したり
鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている姿を
「おおむね満足できる」状況として、観察や対話、ワークシートなどから捉えた。

「知識及び技能」を習得したり、「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することが重要。

6 観点別学習状況の評価の進め方

(1)「思考・判断・表現(発想や構想)」と「主体的に学習に取り組む態度」

「思考・判断・表現(発想や構想)」について

「和紙を触り、握ったり折ったりしながら**表したい形**を見付けている」「飾りたい場所に合うように花の形を**考えている**」などの姿を「おおむね満足できる」状況として把握した。

「主体的に学習に取り組む態度」について

「思考・判断・表現(発想や構想)」で捉えた姿と関連付けて、つくりだす喜びを味わい進んで染めた和紙で花を工作に表す学習活動に取り組もうとしている様子を「おおむね満足できる」状況として、**主に、観察、対話、作品、作品カード**から把握した。

観察では、

「材料の和紙を見たり触ったりしながら、どんな形ができそうか考えることに進んで取り組もうとしている」などの姿から捉えた。

「どのような花にしようか、ワークシートに書くことを通して考えることに進んで取り組もうとしている」などの姿

対話では、児童の「私の家の玄関に合うように、明るい感じの花にしたいと思っている」などの言葉から捉えた。

「水色の花にしようと思うのだけれど、花びらはどうしようか考えている」などの言葉

6 観点別学習状況の評価の進め方

(2)「知識」と「主体的に学習に取り組む態度」

「知識」について

「染めた和紙の色や質感を生かしているいろいろと試しながら、思いに合わせて表し方を工夫して表す場面において、形や色などによる組合せの感じに着目している」などの姿を「おおむね満足できる」状況として把握した。

「主体的に学習に取り組む態度」について

「知識」で捉えた姿と関連付けて、作りだす喜びを味わい進んで染めた和紙で花を工作に表す学習活動に取り組もうとしている様子を「おおむね満足できる」状況として、主に、観察、対話、作品、作品カードから把握した。

観察では、形や色などによる組合せの感じに着目して進んで表している姿から捉えた。

作品からは、作品全体の印象だけでなく、作品の部分にも着目し、形の感じや色の感じ、組合せによる感じなどを捉えながら主体的に学習に取り組んでいるかどうかを捉えた。

「黄緑色と水色の和紙を使って花をつくり、重ね合わせて新たな形になるようにしている」、「花の色と真ん中の丸い形の色が合うように組合せを考え、全体が明るい感じになるようにしている」などの姿

例えば、「玄関に合うように山吹色をつくらうとしている」「淡い色を生かしてふんわりした感じの丸い形をつくらうとしている」「全体が明るい感じになるように、和紙の色の組合せを考えて表そうとしている」などの姿

6 観点別学習状況の評価の進め方

(3)「技能」と「主体的に学習に取り組む態度」

「技能」について

「花を見る人のことを思い、どんな心を込めたいのかを確かめながら、**手や体全体を十分に働かせて**材料や用具を扱っている」「**表したいことに合わせて、和紙を手でちぎったり、はさみで切ったり、折ったり丸めたりしながら、組合せ方やつなぎ方を工夫して表している**」などの姿を「おおむね満足できる」状況として把握した。

「主体的に学習に取り組む態度」について

「技能」で捉えた姿と関連付けて、**つくりだす喜びを味わい進んで染めた和紙で花を工作に表す学習活動に取り組もうとしている様子**を「おおむね満足できる」状況として、**主に、観察、対話、作品、作品カード**から把握した。

観察では、「表したい形になるように、手を動かして何度も和紙を握ったり折ったりして、いろいろな花の形を試しながら工夫して表すことに進んで取り組んでいる」などの姿から捉えた。

作品からの評価では、作品全体の印象だけでなく、作品の部分にも着目し、材料や用具をどのように使っているか、思いをもって工夫して表しているかなどを具体的に捉えた。

「太陽のような明るい花になるように回りは細かい紙を使って工夫して表すことに進んで取り組み、つくりだす喜びを味わっている」などの姿

例えば、「和紙のいろいろな表し方を組み合わせて表そうとしている」「紙類や絵の具についての経験を生かして表そうとしている」などの姿

6 観点別学習状況の評価の進め方

(4)「思考・判断・表現(鑑賞)」と「主体的に学習に取り組む態度」

「思考・判断・表現(鑑賞)」について

「友人と話し合いながら自分の作品を見て、花の形の**面白さ、表し方のよさ**を感じ取っている」など姿を「おおむね満足できる」状況として把握した。

「主体的に学習に取り組む態度」について

「思考・判断・表現(鑑賞)」で捉えた姿と関連付けて、つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとしている姿を「おおむね満足できる」状況として、主に、**観察、作品、作品カード**から把握した。

観察では「友人の作品を見て色の生かし方や花の形の面白さを感じ取ることに、進んで取り組もうとしている」などの姿から捉えた。

また、家に飾ることや家の人に見てもらうことを楽しみにして活動している様子からも、主体的に学習に取り組んでいる姿を捉えた。

「自分の作品と友人の作品を比べて感じ方を広げることに進んで取り組もうとしている」などの姿

6 観点別学習状況の評価の進め方

「努力を要する」状況（C評価） の児童

「知識・技能」、「思考・判断・表現」
の視点で児童の姿を見直し、つまず
いている点を把握し、指導する必
要がある。

どこに花を飾る予定かなどを問いかけて、作品ができあがることに期待をもつようにする、これまでの活動を振り返り、見通しをもつようにするなど、自己の学習を調整し、粘り強く取り組むことができるようにする。

児童の学習状況を把握



学習活動の早い段階で指導に生かす評
価を行い、「努力を要する」児童に対して
指導



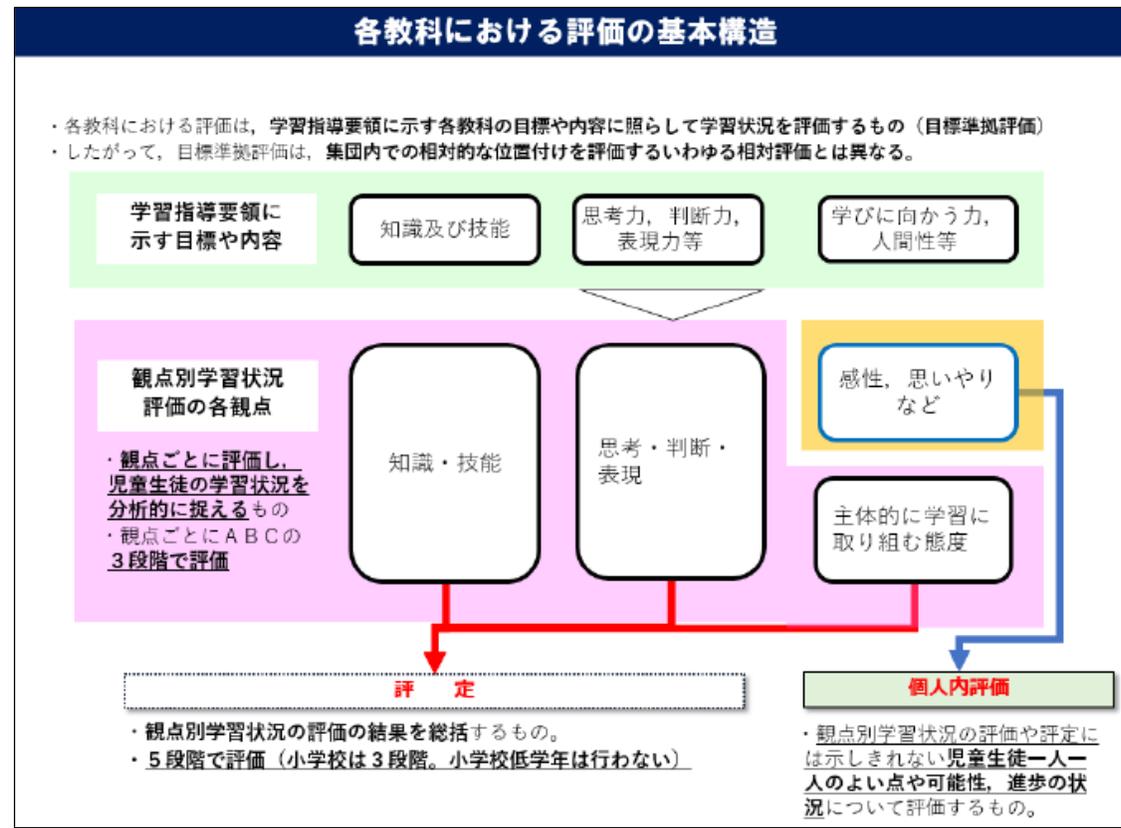
資質・能力が育成される

6 観点別学習状況の評価の進め方

(第1編 図3 p.8)

「主体的に学習に取り組む態度」の視点で、観察や対話などによって捉えたことを基に、その場で称賛や励ましを行ったり、指導に生かしたりするなど適切な指導を行うことにより、さらに主体的に学習に取り組むことにつながる。

教科の目標や学年の目標、題材の目標として示している「**学びに向かう力、人間性等**」と、評価規準で設定している「**主体的に学習に取り組む態度**」とを照らし合わせるなどして、



観点別学習状況の評価や評価には示しきれない児童一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について、児童に伝えていくことが重要。